2010年度（第50回）九州支部研究報告会
目　　次（計画系）

【建築計画Ａ室】（１題９分：発表６分，質疑３分）情報工学科棟１階72号教室

▶９：００～９：４５――――――――――――――司会：秋元一秀，副司会：岡村紘子

601　村野藤吾の建築におけるタイルと煉瓦の使われ方の変遷　○八谷靖子（九州大学）　井上朝雄　（　1）

602　間伐杉のリューザブル壁式構法の開発に関する実証的研究　～アールを持つデザインの検討～　○LE Dieu Huyen（北九州市立大学）　福田展淳・新出水大藏・落合隆将　佐藤珠美　（　5）

603　木造戸建住宅におけるライフサイクル炭素の動態　○正木　哲（九州大学）　冨田昌平・竹下輝和　（　9）

604　木柱材システムパネルの性能整理とPanel-WooD工法による住宅デザインの提案　―施工例「響きの家」における木スラブの検証―　○播磨信二朗（九州大学）　冨田昌平・正木　哲・竹下輝和　（13）

605　100年木造住宅の長寿命要因に関する研究　―島原市の100年木造住宅の事例調査を通して―　○上田平卓也（長崎総合科学大学）　鮫島和夫・村田明久　（17）

▶９：５５～１０：４９――――――――――――――司会：志波文彦，副司会：西亀和也

606　明治～昭和戦前の東京における図書館建築の計画史的研究　その１．明治期の計画　○松藤辰矢（有明工業高等専門学校）　北岡敏郎　（21）

607　明治～昭和戦前の東京における図書館建築の計画史的研究　その２．大正～昭和戦前の計画　○北岡敏郎（有明工業高等専門学校）　松藤辰矢　（25）

608　戦前に建てられた鉄筋コンクリート造小学校校舎の成り立ちの比較　―福岡市立大名小学校校舎の建築的価値に関する研究　その１―　○坂田貴一（九州大学）　井上朝雄・片野　博　（29）

609　福岡市立大名小学校の建築的特徴　―福岡市立大名小学校校舎の建築的価値に関する研究　その２―　○坂田貴一（九州大学）　井上朝雄・片野　博　（33）

610　県政資料における小学校の配置構成及び校舎の廊下位置　熊本県下の小学校における南側廊下校舎に関する研究　○岡村紘子（崇城大学）　秋元一秀　（37）

611　S・ウィルダースピンの教育論におけるクラスルーム、運動場、ギャラリー　英国における小学校建築に関する計画史的研究その３　○満岡誠治（久留米工業大学）　（41）

▶１０：５９～１１：４４――――――――――――――司会：池添昌幸，副司会：播磨信二朗

612　既存校舎一体型小中一貫教育校の空間構成と運営実態　既存校舎一体型小中一貫教育校に関する研究（その１）　○大場奈帆子（九州大学）　木下直美・田上健一　（45）

613　基本設計プロセスを通してみた既存校舎一体型小中一貫教育校の建築計画的課題　既存校舎一体型小中一貫教育校に関する研究（その２）　○大場奈帆子（九州大学）　田上健一　（49）

614　事後評価による集約型多目的室の利用実態に関する研究　―Hk小学校をケーススタディとして―　○西亀和也（九州大学）　志波文彦・竹下輝和　（53）

615 成熟都市における地域連携型デザイン活動の実践研究 冷泉まちなみ演出プロジェクトを通して ○江副友美（九州大学） 田上健一 (57)

616 学校跡地の計画策定プロセスにおける住民参加の課題 博多区旧冷泉小学校跡地を事例として ○柴田りつ（九州大学） 田上健一 (61)

（１１：５０～１２：１５） 九州支部建築計画委員会 情報工学科棟１階７２号教室
（１２：５０～１３：２０） 九州支部研究者集会 建築学科棟２階０１教室

▶１３：３０～１４：１５――――――――――――司会：田上健一，副司会：江副友美

617 熊本大学の施設群を対象とした経年別投資額推定手法に関する研究 —キャンパスFM業務モデルに関する研究 その25— ○高石寿朗（熊本大学） 位寄和久・下田貞幸・大西康伸 柴田洋希・坂本興志 (65)

618 キャンパス施設におけるBIMを用いたLCC算定手法に関する研究 —キャンパスFM業務モデルに関する研究 その26— ○長曽我部真裕（熊本大学） 位寄和久・下田貞幸・大西康伸 柴田洋希・竹井大将 (69)

619 公共施設の利用状況の変化に関する調査 —ヴァーチャル世界の拡大による公共性の縮小— ○瀧口正太（福岡大学） 趙 翔 (73)

620 建築物の屋内掲示スペースの計画化に関する調査研究（KAPの掲示物の傾向について） ○中島沙也（熊本県立大学） 村上良知・中村美奈子 (77)

621 身障者用駐車場利用証制度の普及と運営に関する調査研究 ○藤本綾香（熊本県立大学） 村上良知・中村美奈子 (81)

▶１４：２５～１５：１０――――――――――――司会：後藤隆太郎，副司会：近藤雅也

622 認知症高齢者グループホームに関する研究 平均スタッフ数からみたスタッフ・入居者の利用 ○江崎ひかる（有明工業高等専門学校） 北岡敏郎 (85)

623 中山間地域に居住する高齢者の外出行動とQOL評価の関係 農村高齢者のQOL向上に向けた福祉のまちづくりに関する研究 ○三宮基裕（九州保健福祉大学） (89)

624 高齢・人口減少地域における要介護認定者の施設利用に関する研究 —南種子町・屋久島町・豊後大野市を事例として— ○福岡理奈（鹿児島大学） 境野健太郎・友清貴和 (93)

625 介護老人保健施設を中核とした要介護高齢者の地域での居住支援に関する研究 ○原田ゆりか（鹿児島大学） 鈴木健二 (97)

626 地方郊外住宅地における戸建住宅から高齢者福祉施設への転用に関する事例研究 ○竹内祐太（鹿児島大学） 鈴木健二 (101)

▶１５：２０～１６：１４――――――――――――司会：三宮基裕，副司会：原田ゆりか

627 学童保育施設に関する研究 —熊本県菊池市を事例として— ○菊地健太郎（熊本大学） 桂 英昭・浦川史親・唐沢文茜 (105)

628 市町村合併における庁舎施設及び関連施設の研究 —熊本県熊本市・八代市・天草市を事例として— ○岸川芙実（熊本大学） 桂 英昭・瓜生なつみ (109)

629 市町村合併を遅延させた要因分析 —人口減少と市町村合併に伴う生活圏域と生活サービス手法の再編— ○渡会恵里（鹿児島大学） 友清貴和 (113)

630 行政の支援形態に注目した生活サービス手法の考察
—人口減少と市町村合併に伴う生活圏域と生活サービス手法の再編—
○田中翔子（鹿児島大学）
友清貴和・古川惠子
(117)

631 サービス授受・移動形態からみるサービス提供圏域の変化
—人口減少と市町村合併に伴う生活圏域と生活サービス手法の再編—
○丸林美香（鹿児島大学）
友清貴和・古川惠子
(121)

632 グラフを用いた人のつきあい構造の考察
—人口減少と市町村合併に伴う生活圏域と生活サービス手法の再編—
○花原裕美子（鹿児島大学）
友清貴和
(125)

【建築計画Ｂ室】（１題９分：発表６分，質疑３分）情報工学科棟２階73号教室

▶９：００～９：３６――――――――――――――司会：境野健太郎，副司会：福岡理奈

633 室内窓が居住空間及び家族間の繋がりに与える影響に関する研究
○川上喜嗣（北九州市立大学）
デワンカー・バート
(129)

634 空間を表現する擬態語に関する研究
—設計経験者と非経験者の比較—
○宇野真明（北九州市立大学）
デワンカー・バート
(133)

635 住宅作品を表す言葉からみる建築家の設計意図に関する研究
○大田将平（北九州市立大学）
デワンカー・バート
(137)

636 メッシュ分析によるコンペ受賞作品の構成要素の傾向に関する研究
○丸山　翔（北九州市立大学）
デワンカー・バート
(141)

▶９：４６～１０：３１――――――――――――――司会：徳田光弘，副司会：佐藤　洋

637 設計プロセスから見るBuildLiveTokyo2010参加の教育的評価と問題点
○中野恵実（熊本大学）
畑中弘平・立岩宏章・大西康伸
松本裕司・仲　隆介
(145)

638 デザインコンセプト提案段階における創造的アイデア発想支援技術の開発と評価
—建築協調設計における発想支援技術に関する研究—
○深町百代（熊本大学）
両角光男・本間里見・大西康伸
前田芳男・畑中弘平
(149)

639 タッチパネル式モバイル端末を導入した建築協調設計支援システムの利用モデルの提案
—設計演習授業のための協調設計支援システムの開発と運用に関する研究　その６—
○川野　渚（熊本大学）
両角光男・大西康伸・本間里見
村上祐治・黒川昭治郎
(153)

640 3DCADを利用した熱環境シミュレーションの研究
—熱環境シミュレーションソフトに利用可能な立体データの抽出方法の検討—
○山本大夢（北九州市立大学）
福田展淳・田中慎一郎
(157)

641 商業地区における「人の移動状況」の観点から見る都市・建築空間の構成に関する研究
○奥村朋子（福岡大学）
趙　翔
(161)

▶１０：４１～１１：２６――――――――――――――司会：鈴木義弘，副司会：井　健二

642 入居２年半・３年半の集合住宅共用部における物の滲み出し実態
—震災復興計画のあり方に関する研究　その６—
○近藤雅也（佐賀大学）
後藤隆太郎・岡田知子・重村　力
加藤仁美・河野泰治・石丸紀興
(165)

643 玄界島における住宅再建の状況
—震災復興計画のあり方に関する研究　その７—
○岡田知子（西日本工業大学）
後藤隆太郎・重村　力・加藤仁美
河野泰治・石丸紀興
(169)

644 豪雨災害における復興イベント構造の時系列分析
○佐藤　洋（九州工業大学）
徳田光弘
(173)

645　平成21年中国・九州北部豪雨被災地における自治会活動の実態に関する基礎調査　○林　友也（九州工業大学）　大山美佳・徳田光弘　(177)

646　平成21年中国・九州北部豪雨時の災害対応組織における情報伝達ネットワークの実態
防府市を事例として　○永谷雅樹（九州工業大学）　徳田光弘・杉本寿郎　(181)

（１１：５０～１２：１５）　九州支部建築計画委員会　情報工学科棟１階７２号教室
（１２：５０～１３：２０）　九州支部研究者集会　建築学科棟２階０１教室

▶１３：３０～１４：２４――――――――――――司会：満岡誠治，副司会：光永宜玄

647　中国の環境友好型集合住宅における居住者意識に関する研究
―遼寧省大連市の大有恬園１期を事例として―　○林　秋月（九州大学）　田上健一　(185)

648　メトロマニラの低所得者用中層住宅供給事業における居住実態と価値形成マネジメント
Pasayのオンサイトリロケーション事業を対象として　○稲盛智章（九州大学）　田上健一　(189)

649　INTENTION AND REALITY IN PLANNING LOW-COST HOUSING
―A case study of Khon Kaen Province in Thailand―　○AIJ Member Nayatat TONMITR（琉球大学）　Nobuyuki OGURA　(193)

650　住商一体型居住による住宅地再整備計画論
津屋崎千軒の事例を通して　○平林拓朗（九州大学）　田上健一　(197)

651　郊外戸建住宅地における空家・空宅地の管理実態に関する研究　○嶋津聡美（九州大学）　永瀬秀格・友枝竜一・竹下輝和　(201)

652　店舗併用型公共住宅における民間譲渡の理由とその権利形態
―福岡市におけるケーススタディ―　○山科友作（鹿児島大学）　小山雄資・友清貴和　(205)

▶１４：３４～１５：２８――――――――――――司会：志賀　勉，副司会：嶋津聡美

653　尾道の文化住宅群に関する研究　○二木真希（九州大学）　竹下将史・田上健一　(209)

654　洋館付加住宅の解釈に関する史的研究の意義
洋館付加住宅の建築計画史的研究　第１報　○鈴木義弘（大分大学）　井　健二・岡　俊江・切原舞子・湯浅裕樹　(213)

655　洋館付加住宅の形態・意匠と住まい方の検証（大分県・横浜市の事例から）
洋館付加住宅の建築計画史的研究　第２報　○井　健二（大分大学）　鈴木義弘・岡　俊江・切原舞子・湯浅裕樹　(217)

656　洋室の利用実態別にみた洋館付加住宅のケーススタディ
洋館付加住宅の建築計画史的研究　第３報　○井　健二（大分大学）　鈴木義弘・岡　俊江・切原舞子・湯浅裕樹　(221)

657　「一人家族」世帯の住宅計画
―６事例の検討を中心に―　○持田美沙子（熊本大学）　鳥飼香代子　(225)

658　戦後・鹿児島市の公的住宅供給事業における鹿児島市住宅協会の役割　○市村良平（鹿児島大学）　小山雄資・木方十根　(229)

▶１５：３８～１６：４１――――――――――――司会：鈴木健二，副司会：竹内祐太

659　居間中心型と中廊下型住宅の居住後評価の比較考察
居間中心型住宅普及の動向と計画課題に関する研究　第７報
○光永宜玄（大分大学）　鈴木義弘・湯浅裕樹・岡　俊江　切原舞子　(233)

660　家族成員別の居住後評価と居間の拠点性に関する基礎的考察
居間中心型住宅普及の動向と計画課題に関する研究　第８報
○高岡大輔（大分大学）　鈴木義弘・湯浅裕樹・岡　俊江　切原舞子　(237)

661　LDK空間と和室の使われ方からみたプラン選好の分析
居間中心型住宅普及の動向と計画課題に関する研究　第９報
○湯浅裕樹（大分大学）　鈴木義弘・岡　俊江・切原舞子　(241)

662　面積水準を指標とした座敷とLDK空間確保の関係とその変容
現代住宅における平面構成の変容に関する研究　第３報
○鮫島慶多（大分大学）　鈴木義弘・湯浅裕樹・岡　俊江　切原舞子　(245)

663　座敷と和室の比較分析（床の間の有無が平面構成や生活に与える影響）
現代住宅における平面構成の変容に関する研究　第４報
○和知克典（大分大学）　鈴木義弘・湯浅裕樹・岡　俊江　切原舞子　(249)

664　２階居室の平面構成の変容と居室の使われ方について
現代住宅における平面構成の変容に関する研究　第５報
○小川展弘（大分大学）　鈴木義弘・湯浅裕樹・岡　俊江　切原舞子　(253)

665　我が国との比較における現代アメリカ独立住宅の公室空間構成の特徴分析
○黒木　瞳（都城工業高等専門学校）　樋口栄作　(257)